

土佐山田支所管内より

夫婦2人で一から始め、商品化!!

依光 文雄さん(80)
依光 洋子さん(73)

依光さん夫婦はタデ藍を栽培され、収穫し加工、化学染料・着色料・保存料など一切なしの『藍里 フルオーガニックスパカラー タデアイ』(白髪染め)を販売しています。

商品化するまでには10年以上かかり、その中で何度か諦めかけたことも。その様な時でも夫婦でアイデアを出し合い、試行錯誤の繰り返し。「商品になったが、わたしのはちきんパワーのプラスがあったきかもね(笑)」と笑いながら話してくれた洋子さん(*^-^*) ご主人の文雄さんは器用だそうで、経費削減のため、収穫したタデ藍を洗う設備や乾燥させる棚も工夫を凝らし手作りしているそうです。

そのような2人の努力もあって、第1回香美市ものづくり大賞で見事グランプリを受賞!! 「肌に優しい本当にいいものがやっと形になった。なので自分たちで終わらせたくない。後継者を探しています!」と2人。これからの想いも話してくれました。

*商品等のお問い合わせ先
藍里農園&コスメティクス ☎0887-52-9950



タデ藍(蓼藍)。植物染料の1つで葉や茎から染料を採り、日本では古くから使われています。



地区担当者より

愛情たっぷりのお庭(´▽`*)

左端：幾井 楠猪さん(89)

30年ほど前から、自分の時間を持てだしたことをきっかけに庭作りに力がいっていったそう。「花なら何でも好き。自分の命みたいに大切に大好き」と幾井さん。2人の娘さんも花好きだそうで、幾井さんに会いに来る時に花を持ってきてくれることが多く、庭にどんどん花が増えていくのが嬉しいと話してくれました。

取材当日は、花と共に幾井さんの長女・眞理子さんと、幾井さんの友達も一緒に迎えてくれました(^o^)/ 幾井さん含め皆さんがJA女性部土佐山田支部に所属し、長年の仲間であり友達だそう。カラタネオガタマの甘い香りが庭に広がり、たくさんの花を目の前に、女子会の話にも花が咲き賑わいました🌸



カラタネオガタマ



香美地区 から こんにはは 今月の 気になる人

恩師の想いを継ぎ、舞台上で活躍!(^^)!

右：山本 やすこさん(79)
左：氏原 佳津江さん(77)

「野島昌子先生が30年以上もやってきてくれて今がある。人数はかなり減ってきてしまうけど、ここで絶対に絶やしたくない!」と強い想いを持ち赤岡民踊クラブを受け継ぎ活躍されている2人。お互い小さい頃から唄が好きで、踊りも好きだったそう。

山本さんが級を取得し踊りの指導を行い、氏原さんはみんなをまとめる会長を勤めています。

赤岡民踊クラブは8名(取材当時)で活動しており、色々なイベントに声がかかりたくさんの舞台に出演。

取材させて頂いた時は、コロナウイルス感染拡大でやむを得ず中止が続いていた“どろめ祭り”が今年は開催ということで披露する踊りの稽古中でした。

赤岡小学校の2年生～6年生で希望した児童が「どろめ綱曳歌」を踊るにあたって、放課後小学校に行き指導。「低学年の子どもたちは元気いっぱい大変!でも6年生がビシッと言うてるし、踊りもわたしらと一緒に教えてくれるき助かっちゃう。こうやって赤岡の伝統を繋いでいけるのも嬉しい」と話してくれました。

興味のある方は、週1回火曜日の午後7時半～9時半まで、赤岡町にある「弁天座」で稽古をしています。ぜひ1度見に来て下さい!!

赤岡支所管内より



野島先生の3回忌を弁天座で踊り供養した時の写真。



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 香我美支所管内 見た目のポコポコが甘くておいしい印の「なつみ」



収穫の様子。

香美地区果樹部南津海研究会では5人の生産者が約70アールでハウス栽培しています。今年も、例年に比べ出荷時期が少し早く3月15日から収穫が始まり、5月9日まで出荷が続きました。
なつみは、果汁が多く濃厚な甘みと程よい酸味の特徴。酸が高いので収穫までの約1年間、かん水の管理をしっかりと行い、樹で完熟させます。池添哲治代表は「冬は寒波や雨量が少ない影響で酸が高かったが、3月・4月と雨量があり酸が抜け糖度が上がり美味しく仕上がりました」と話しました。

3 吉川支所管内 ニンニク出荷



専用ネットに1kg入れ、1箱に10袋を詰めて出荷します。

香美地区園芸部総合部会吉川ニンニク部会が栽培するニンニクの出荷が、4月23日から5月下旬まで行われました。同部会の生産者は15人で、収穫したニンニクは各自が箱詰めして出荷します。今年も例年より少し早めの出荷スタートとなりましたが、品質は例年並み。生ニンニクは需要の多い2L・Lサイズを中心に、北陸・関東・県内に出荷され、出荷量は加工用を併せて約30tの出荷となりました。ぜひ皆さん、これからの暑さを乗り越えられるようニンニクを食へ、パワーをつけてみてください。

6 夜須支所管内 「高知トマトサミット」に出店



「夜須のフルーツトマト」のPRをする生産者。

とさのさとAGRI COLLETTで4月8日・9日に開催された「高知トマトサミット2023」に香美地区園芸部フルーツトマト部会が出店しました。この催しは令和3年から始まり、今年はそのとさ4周年祭のイベントの一つとして行われ、県内のブランドトマト17種類が出店。来場したお客さんに試食してもらいながら、直接PR出来るとあり生産者も積極的に声を掛けていました。来場客からは「何種類か試食したけど、自分は夜須のフルーツトマトが一番甘く感じ、皮もしっかりしていることがおいしく感じた」と感想を聞くことが出来ました。

4 赤岡支所管内 4年ぶりの『どろめ祭り』



たくさんの人で賑わいました。

「第66回土佐赤岡 どろめ祭り」が4月30日に赤岡海浜で、4年ぶりに開催されました。祭りは「大杯飲み干し大会」をメインイベントに、歌舞伎「白浪五人男」等がステージで繰り広げられました。赤岡町内にある金融機関、四国銀行・高知銀行・JAの3機関は、交流や赤岡町の発展・社会貢献を目的とし、「三水会」を立ち上げイベント協力を行っています。今回も「白浪五人男」の役者として四国銀行・高知銀行ほか合わせて5人の男性が出演し、イベントを盛り上げるのに一役買いました。



令和5年度 地区本部三役
右：副部長 中村千百合さん
真ん中：部長 宮地テル子さん
左：会計 恒石邦子さん

1 地区本部 女性部総会 “新役員決定！”



女性部土佐香美地区は4月20日、第5回通常総会を野市支所で開催しました。部員や職員ら72人が出席し、令和4年度事業報告及び収支決算承認の件など、4つの議案は全て承認されました。
令和4年度は、JA女性組織3カ年計画「JA女性 想いをひとつに かなえよう」の実践初年度でした。地域をつなぐ3つの具体的活動「つながるう・まもう・かかわろう」を掲げ、4支部に計10人の新しい部員が増えたことや、香美市・香南市の中学生を対象に地場産物を使った料理教室の出前授業を実施したことなどを、執行部が報告。また、役員改選の年であることから、選任について審議が行われ満場一致で新役員が決まりました。
新体制で令和5年度を迎え、全6支部がこれからもJAを拠点に、部員みんながひとつとなり楽しく、元気になる様々な活動に取り組むことを目指します。

わたしたちLAが、皆さま一人ひとりにぴったりな備えについて総合保障を通じサポートさせていただきます。



“大切な人のために備える万全保障”
定期生命共済（通減期間設定型）『みちびき』が新登場！

JA共済は、組合員・地域住民の皆さまとの絆を大切にしながら、「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じて安心して豊かに暮らせる地域社会づくりをめざした取り組みを行っています。
生活をしていく中で、人生の節目など、ご自分の状況は変わってきます。LA（ライフアドバイザー）が、今後も皆さまにお声がけをさせていただき、しっかりとサポートをしていきますので、よろしくお願ひします。

2 地区本部 JA共済 本当に必要な備えを

えいのう〜

役立つ! 得する! 情報

チャレンジ! 家庭菜園

カラシナ

ピリツとした辛みを楽しむ

カラシナ(芥子菜)はアブラナ科の不結球菜類で、ピリツとした辛みのアリイソチオシアネートは、食欲増進と殺菌効果を示します。栄養成分として、ビタミン類、ミネラルを多く含む緑黄色野菜です。カラシナはやや冷涼な気候に適し、夏の暑さに弱いものの、寒さには強い野菜です。そのため秋まきし、秋冬取りが一般的です。

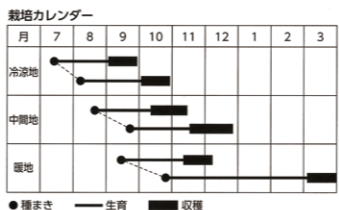
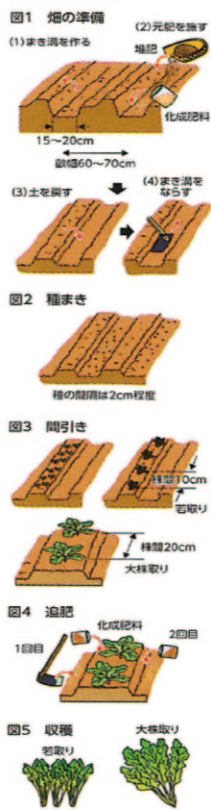
【品種】日本各地に固有の品種があり、山形青菜(山形)、山白菜(福岡)、島菜(沖縄)など。また、葉が柔らかい「セリフォン」(サカタのタネ)、赤紫に色づく「コーラルリーフプルーム」(タキイ種苗)、ちりめん状の「グリーンリル」(トキタ種苗)などがあります。

【畑の準備】植え付け2週間前に、1平方m当たり苦土石灰100gをまいて、深く土を耕しておきます。1週間前に畝幅60〜70cm、幅15〜20cmの溝を掘り、この溝1m当たり元肥として化成肥料(NPK各成分10%)100g程度と堆肥2kgを施して土を戻し、くわでまき床が平らになるようならします。(図1)

【種まき】溝全体に2cmくらいの間隔に種まきします(図2)。なお、苗作りをする場合、9cm

ポリ鉢に5〜6粒まき、間引きして本葉5〜6枚の苗に仕上げます。
【間引き】じかまきでは、1回目は本葉2〜3枚時に株間5〜6cm、2回目は本葉5〜6枚時に株間10cmくらいに間引きます。その後、1株おきに若取りし、残された株で大株取りもできます。初めから大株取りを狙う場合は、株間を20cmくらいにします(図3)

ポリ鉢に5〜6粒まき、間引きして本葉5〜6枚の苗に仕上げます。
【病害虫防除】アオムシ、コナガにはゼンターリ顆粒水和剤(BT剤)などで防除します。なお、種まき後は防虫ネットや不織布のべたがけをして、害虫の被害を防ぎましょう。
【収穫】草丈20cmくらいの小株から収穫(若取り)を始め、大株取りでは草丈30〜40cmで株元から刈り取ります(図5)。



水稲

(いもち病の発生・症状・対策について)

いもち病

いもち病は葉面湿潤時間と平均気温が大きく関わっており、それらの条件を満たした7日〜10日後にいもち病の初発が見られるようになります。その後、約7日後に発病が増加し始めます。

※発病しやすい条件は、1日の湿潤時間が10時間で、湿潤時間中の温度が15〜25℃です。さらに前5日間の平均気温が20〜25℃であれば、発病の好適な条件となります。

■極早生や早生栽培の場合は、5月下旬から6月上旬頃に発病が確認されます。

■中生栽培の場合は苗の管理時に発生することが多いです。特にヒノヒカリは、いもち病に弱いいため、病斑を確認したら防除を行うようにしましょう。

症状
葉では、円形から楕円形で、灰緑色水浸状の病斑を生じる。その後長紡錘形や菱形となり、中央部が灰白色周縁は褐色の病斑となります。葉節が侵されると、灰褐色で葉縁部が褐色の大きな病斑となります。



防除対策

■苗床で確認された場合は、正常な苗と離して管理するようにしましょう。
■本田では初発生時期が防除の適期となります。栽培時に不順な天候が続ぎ、葉に病斑が見られるときには早めに薬剤(※)による防除を行います。上位葉に発病が多いときは、穂に移り、穂いもちを誘発し、収量が大幅に減少します。出穂前に薬剤を散布し、いもちの発生を予防しましょう。

※ブラシンフロアブルを1000倍希釈し散布が効果的です。

(注)
Q-O-剤(アミスターエイトやイモチエースタークル等)は耐性をつけない為にも、Q-O-剤の使用は年1回の使用にとどめて下さい。

いもち病は多肥条件下で発生が助長されるため、毎年発生が確認されるようであれば、減肥で栽培を行うことも検討しましょう。

早掘甘藷

「根っこりん」葉面散布で肥大・収量増!

香美地区管内の早掘甘藷 露地トンネル栽培において、葉面散布資材「根っこりん」を施用しているほ場で、施用前と比較すると肥大が優れ、収量の増加がみられていますので紹介します。

実際にこの葉面散布資材を使用したほ場では、使用していなかったと比較して芋の平均階級が1〜2階級アップし、それに伴い収量も大幅に増加しました。
根っこりんの葉面散布が芋の肥大促進に繋がっているものと思われれます。



(株)生科研「根っこりん」

使用方法

葉の黄化が始まる前(収穫1カ月前3週間前ごろ)から、根っこりん250倍液を、1週間ごとを目安に2〜3回散布します。
液量は、10㎡当たり1000mlを目安にしてください。

注意点・備考

- ① 顕著に葉色が退く為、黄化が始まる前に使用してください。
- ② 強烈に肥大を促進する資材の為、「250倍」という倍率を遵守してください。
- ③ 中性資材の為、農薬との混用も基本的には可能です。



根っこりん散布で肥大良好、収量アップ

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

大板の信崎商店で、大板まんじゅうやアイスキャンディーを買ったことが思い出されました。

(香南市香我美町・58歳)

信崎商店はいつも利用しています。特に果物がおいしいので「お使い物」にする時は重宝しています。

(香美市物部町・63歳)

▼4月号「香美地区からこんにちは」に掲載した「信崎商店」に関するお便りが届きました。取材をさせて頂いた時に信崎さんが「田舎で小さな店をやっていくのは大変。でもうちの店を利用してくれる人は、運転免許証を返納した人が多いし、大板に店が本当に無くなったらね」と話してくれている時もお店の電話が鳴り、お客さんからの商品の問い合わせでした。地域の皆さんにとって本当に大事なお店なんだと感じました。

地域の情報や知人が載っていると嬉しくなります。近くの場所でも知らない店や行ったことのない所があり、読んで楽しんでます。これからも色々新しい事に挑戦して下さい。

(香南市香我美町・68歳)

▼読んで楽しんでる。こうぐり担当者にとっても嬉しいお便りです！これからも皆さんに、楽しみで待っていると思ってる広報誌を作ってください。

60年ほど昔祖母の家でおきやくの「トラ巻き」を作ったのを思い出しました。「さわち」も手作り、人との交流も

ありす。くいい時代でした。農協さんと皆が言っていたころからずとお世話になっています。これからもよろしく!!

(香南市野市町・66歳)

▼4月号「うちんくの台所」を見てのお便りが届きました。トラ巻き、黄色くふんわりの生地にぎっしりのあんこ。写真でも美味しそうなのが伝わってましたね！先日、JA女性部さんと話しをする機会があり、その方も広報誌を見て「トラ巻きが戦っちゃったね。あれ本当昔には、新聞紙で巻きよったき、生地にそのインクがついてそれがトラ模様に見えたり、トラ巻き、って言うがで。最近では衛生的なこともあってそう作らなくなった」と話して下さいました。なるほど!!となりました。(O)

チカカツ！を見て、いろいろな食材で調理実習ができるなら高知農業高校に行きたいなと思いました。毎月楽しみにしています！家族にも協力してもらって解いています！

(香美市香北町・11歳)

▼4月号「チカカツ」を見てのお便りが11歳の方から届きました！それも毎月楽しみにしてくれているとのこと!!どの世代の方も見て読んで楽しめる広報誌にしていきたいと、お便りを頂き改めて嬉しかったです!!! 農業高校、楽しそうですよ。わたしもどんな授業をしているか興味があります。土長地区の女性部さんとの料理、食材もラフルとしても美味しそうでした。

廃ポリ・廃プラ回収日

◆ 廃ポリ

土佐山田支所 とき：7月14日(金) 午前9時～11時
野市支所 とき：7月7日(金) 午前9時～11時
夜須支所 とき：7月4日(火) 午前8時～9時30分
吉川・香我美・赤岡支所 とき：7月18日(火) 午前8時～9時30分
とき：7月6日(木) 午前8時～10時

◆ 廃プラ(ビニール)

吉川・香我美・赤岡支所 とき：7月13日(木) 午前8時～10時

回収場所

土佐山田支所は土佐山田購買課西側駐車場。野市支所、夜須支所、吉川・香我美・赤岡支所は旧香我美ライスセンターとなっています。

回収にあたってのご注意

ビニール・ポリ以外の異物(泥土・ゴミなど)が付着すると、費用負担が多くなり、何よりも土の微粒子等が飛散することにより近隣住民に大きな迷惑となります。回収にあたり、異物を十分に取り除いて頂きますようお願いいたします。

【連絡先】

高知県農業協同組合 香美地区本部

〒781-5295 香南市野市町西野2704-2
TEL.0887-56-0121

野市支所 56-0921	物部支所 58-3105
香北支所 59-2321	土佐山田支所 53-2155
吉川支所 55-2117	赤岡支所 55-2151
夜須支所 55-2155	香我美支所 55-3135
香美営農経済センター 56-2372	特産センター 56-0061
車輛センター 56-0314	農機センター 53-4221
LPガスセンター 53-4353	JA共済高知中央サービスセンター 088-821-6015
JA葬祭会館「ルミエールとさかみ」 56-5911 (24時間対応)	

* 地区担当者のつぶやき *

遅くなればお母さんに怒られることも(わたし…笑)。

ある日の下校、列車の時間ぎりぎりになり自分の乗る列車に慌てて乗り一息ついていたところ、見知らぬ女の子が目の前に来て声をかけられたそうです。その子いわく、一目散にホームから列車に向かってくる娘の姿を車窓から何気なく見ていたところ、娘が通学リュックにつけている大きめの人形が落下!! その時近くに居合わせた女の子が慌てて拾い、娘を追いかけたようですが、乗車する事に全集中している娘は全く気づかずにそのまま乗車。拾ってくれた女の子は人形を駅の中へ持って行ってくれましたと話してくれたそうです。

この話を聞いた時にすべての状況が目に見え、娘を追いかけた子、それをたまたま一部始終見ている娘に話してくれた子に感謝!!!! こんな素敵なリレーがあるかと心がほっこりしました(^^)♡♡♡

家に帰り着いた娘から話を聞き、聞いたその後すぐに今度は自家用車で駅に向かいました。そしたら駅の入り口から見やすい位置に人形はちょこんと座って娘を待っていました!

今のこのような時代でも、見ず知らずの人を想い行動に移してくれる。こんな素敵なことが娘の日常に起きたことが、これまた大変嬉しかったです。(田村)

先日娘に起きた出来事が、ほっこりした気持ちになったのでここで書かせてもらいます。

娘はJRを利用し通学していますが、列車を1本逃すと家までの帰りが1時間違い、いつもより帰りが